

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## きせき 奇跡

9月2日と3日は5年生の自然教室でした。出発前日までお天気が心配されました。2日の降水確率は60%。初日のプログラムは、野外炊飯にコース別活動です。気を揉みました。しかし、2日の朝「安心してください。はいていま……」ではありません。「安心してください。晴れています。」

(^o^)

2日のお昼過ぎからお天気が少し怪しくなってきました。コース別活動の途中から雨がパラついてきました。それでも1日目の全ての活動を終わることができました。

夜になると、雨は少しずつ激しさを増していきました。午前4時、土砂降りの雨音で目が覚めました。午前7時。朝の集いが始まりましたが、まだ雨粒は大きい。



3日のメインの活動は、フォトラリーです。写真を頼りにグループごとに山の中を歩き、戻ってくる活動です。

朝の集いの様子を眺めながら、活動を変えようか、活動の時間を遅らせようかと考えていました。ところが

「安心してください。晴れています。」

(^o^)

朝食の時間に小降りになり、朝食を終えるころには雨が上がりました。そして、フォトラリーの時刻になると、青空が広がっているのです。

学校に戻り、帰校式で子どもたちにお話しました。

「これを奇跡と言うんです。この奇跡が起きたのはだれのおかげですか？」

子どもたちは口をそろえて言いました。

「ぼく(わたし)たちが頑張ったからです！」

(\*。∩。)

変な期待をもって尋ねた私がおろかでした。しかし、確かにこの奇跡は、この子どもたちと5年生担任、5年生を支えた周りの先生たち、そして、大きな力となってくれたおやじの会とお母さんボランティアの協力が引き寄せたものに違いありません。



## 奇跡を起こした子どもたち

5年生自然教室の続きです。

先生の話、施設の方の話に「はい」と気持ちの良い返事を繰り返す子供たち。

自然の家で同時に活動している中学校の先生の荷物を

「私が持ちます。」

と言って声をかけていた女の子。

レストランで、朝食の食器を戻すために並んでいた中学校の先生の食器を

「僕と一緒にかたづけます。」

と言って手を差し出した男の子。

一つ一つのこと「ありがとうございます」とお礼を言う子供たち。私自身100回ぐらい「ありがとうございます」と

言ってもらったような気がします。

こんな子どもたちを神様が見放すはずがありません！

## チーム春日

今回は、5年生の自然教室でした。5年生の自然教室を学校の全職員で支え、おやじの会やお母さんのボランティアが支えていきました。

今年になってスタートさせた土曜教室にはおやじの会をはじめ、福岡女学院大学、春日高校の生徒さんたち、本校の卒業生たちが土曜教室の先生として活躍してくれています。

サマースクールももちろん、ワイワイまつりももちろんチーム春日として、様々な人たちの協力によって成り立っています。

皆さんの支えに心より感謝申し上げます。

